

2025 年度第 2 四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

日時：2025 年 11 月 12 日（水）16 時 30 分～17 時 30 分

当社出席者：代表取締役社長 大治良高、専務取締役 古川敏之、取締役 小林啓一

主な質疑応答：

【時計事業】

Q) 北米の販売状況について 6 月下旬の値上げ後に変化はあったか。今後追加で米国関税対策を行う予定はあるか。

A) 値上げ前、一部の流通で駆け込みがあったが、全体では大きな影響はなく、第 2 四半期販売は好調に推移した。現時点では追加の値上げは考えていない。

Q) 何が北米の上期業績を牽引したのか。

A) シチズンブランド、ブローバブランド共に伸長したが、より収益性の高いブローバが大きく伸長し、収益性向上に貢献した。

【工作機械事業】

Q) 増収に対し、減益となった要因は。

A) 単価が低い中国向け構成比の高まっていることに加え、他地域においても一部で若干販売単価が下がった。

Q) 下期の各地域の受注の見通しは。

A) 9、10 月の受注状況は十分な水準だったものの、まだ本格回復とは言い難い。国内は半導体関連の需要が上向いている。アジアは第 2 四半期に中国で想定以上の受注をとることができた。北米は、10 月からの値上げを受け 9 月に駆け込み需要が入ったが、値上げ後の 10 月は上期平均よりも高い水準の受注を獲得できている。欧州は、ジョブショップと医療関連が堅調。

【デバイス事業】

Q) 第 2 四半期の業績が前四半期比で改善している背景は。

A) 主要因があるわけではなく各製品が改善した。セラミックス関係は高収益製品の売上が比較的高く、水晶デバイスは製品需要が高まった。またフォトプリンターの前四半期比での増収増益も寄与している。

以上